

平成28年度 学校評価報告書

学校教育目標

一人一人の人格と個性を尊重しながら、生徒の特性に応じた適切な職業教育を行い、自己のもつ能力や可能性を伸ばし、社会的・職業的に自立できる心身ともに健康で、誰からも愛される生徒を育成する。

本年度の重点目標

- ・一人一人の生徒の実態に応じた、学習指導・生活指導・進路指導の充実を図る。
- ・地域と綿密な連携を図りながら、地域に貢献できる生徒を育成する。
- ・特別支援学校のセンター的機能を充実させ、特別支援教育の理解啓発に努める。
- ・地域の防災計画等との整合性を図りながら、生徒及び保護者にとって安全・安心な教育環境を整える。

教育活動における成果と課題

	学習指導	生活指導	進路指導	地域支援・地域連携	安全・安心な教育環境
成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ゲストティーチャーを招いたり、地域行事やボランティア活動に参加したりしたことで、学習意欲の向上に繋がった。</li> <li>○保護者および教職員の教育活動全般においては、肯定的な評価が多く見られた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○生徒心得を何度も活用し、ルールや決まりについて生徒や保護者に対して周知することができた。</li> <li>○生徒の実態や希望をもとに部活動を設置し、活動できる体制を整えることができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○さまざまな職場を訪問し、1年間で101社の職場を開拓できた。</li> <li>○進路講話を実施し、生徒から将来に対して安心したという感想が多く得られた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域の行事やボランティア活動に積極的に参加したり、デュアル実習等で地域の事業所の方々に協力をいただいたことで、地域と学校の連携を深めることができた。</li> <li>○町の特別支援教育の中心的役割を担い、クラスターとして支援を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○避難訓練や不審者対応訓練、救命救急研修会等を定期的に実施し、生徒・教職員の危機管理意識が高まった。</li> <li>○防災マニュアルを作成し、有事の際の教職員の対応や生徒の避難方法について確認することができた。</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>○教職員の指導力や活気ある学校づくりに疑問を抱いている保護者もいる。</li> <li>○学習内容の精選、学習形態の工夫、教材開発、指導技術の向上に課題を感じている教職員もいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○アンケート調査によるいじめの認知はなかったが、小さな揉めごとや問題行動等で指導する場面が少なくなかった。</li> <li>○委員会活動や部活動の体制・環境について、物足りなさを感じている生徒がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○進路指導を進める中で分かりにくさを感じたり、夢を諦めるさせるような否定的な指導をされたという受け止め方をした生徒がいる。</li> <li>○進路に関する情報提供が不足していると感じている保護者の方もいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○外部講師として地域の方を積極的に活用する機会が少なかった。</li> <li>○地域の行事やボランティア活動の参加が計画的なものでなかった。</li> <li>○教職員の専門性向上や生徒理解に関わる研修が十分ではなかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○防災マニュアルは作成したものの、有事の発生状況や生徒の実態によって対応や避難方法の選択肢が多数あり、シンプルに一本化することに苦慮している。</li> <li>○地域の防災関係の機関と連携して取り組んでいく必要がある。</li> </ul>

平成29年度の教育活動の取組

	教務・総務	進路指導	生活指導・保健給食	研究・地域支援	図書・情報	寄宿舎
取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>○合理的配慮の観点を検討し、個に応じた適切な指導計画を作成するとともに、指導力の向上を目指した研修会を充実させる。</li> <li>○自主性や主体性を重視した学習内容、学習形態を工夫する。</li> <li>○多くの保護者が協力しやすいPTAの体制づくりに向けて、PTAの活動内容や時間設定を吟味する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○職場開拓を充実させ、事業所への障害者理解を啓発する。</li> <li>○生徒の勤労観を高める目的で、自発的に参加できるボランティア活動を推進する。</li> <li>○進路指導に関わる取組の発信、外部の情報提供、進路相談を積極的に行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○生徒や保護者に対して学校のルールや決まりについて周知徹底を図るとともに、いじめの早期発見・早期対応に尽力する。</li> <li>○生徒数の増加に伴い、生徒の意見をもとに部活動の設置について見直しを行う。</li> <li>○保健講話の計画的な実施と給食を通じた食育指導を行い、生徒の健康増進を図る。</li> <li>○作成した防災マニュアルを精査し、地域の実態や生徒の実態を踏まえた加除修正を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○生徒理解研修会を年2回実施し、生徒1人1人に対する支援の手立てや対応の仕方について教職員で共通理解する。</li> <li>○特別支援教育に関わる研修会、専門分野の知識や技術を伝講する研修会等を積極的に取り入れ、教職員の資質向上に努める。</li> <li>○研究授業を計画的に実施し、互いの授業力・指導力を高める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○教職員のICT活用能力向上を目指して、情報機器の使い方やICTを活用した授業づくりについて計画的に研修会を実施する。</li> <li>○生徒のアンケートをもとに図書の新規購入を進めるとともに、図書委員会を立ち上げて生徒主体の図書館運営に努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○生徒の責任感や協調性の向上を目指して、防災教育を含む自治活動を推進する。</li> <li>○学年担当や進路担当と連携を図りながら、現場実習に向けた生活指導の充実を図る。</li> <li>○生徒との会話を大切にして、生徒の相談に応えられる体制を維持する。</li> </ul>